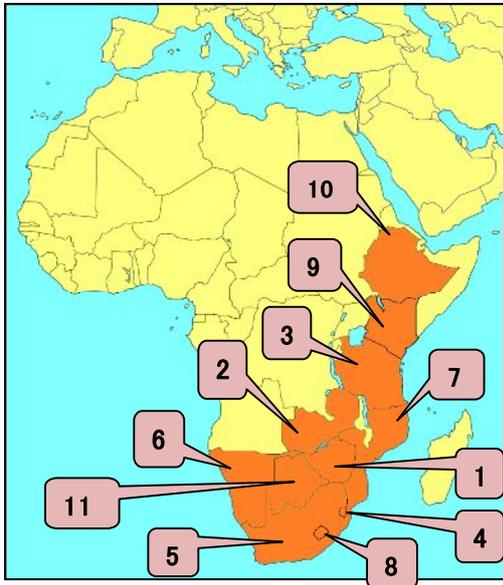


アフリカで麻疹が流行(更新 1)

2010年6月23日 ProMED 情報 (Medical News Today、UNICEF report)

東部および南部アフリカの麻疹発生状況(6月15日現在)



番号	国名	患者数	死亡患者数
1	ジンバブエ	8,173	517
2	ザンビア	817	33
3	タンザニア	20	1
4	スワジランド	529	0
5	南アフリカ(共)	15,520	18
6	ナミビア	3,722	58
7	モザンビーク	434	0
8	レソト	2,406	28
9	ケニア	295	0
10	エチオピア	2,108	8
11	ボツワナ	1,048	0

アフリカでの麻疹の流行は6月中旬までで14カ国に及び、47,907名以上の子供に感染し731名の死亡患者が発生しました。最近では、マラウイ、モザンビークおよびザンビアで麻疹患者の発生が確認されました。

現在実施されている対策は、通常の幼児を対象とした第1回目の予防接種、第2回目の予防接種の機会の設定、検査による患者発見、そして患者の治療です。

WHO アフリカ地域事務局は、これらの対策により2000年から2008年にかけて、死亡患者数を92%減少させてきました。しかし、その後各国政府の財政的問題で、接種率が低下しました。2009年には、240万人以上の子供(1歳以下の子供の20%に相当)が予防接種を受けていません。

南アフリカやジンバブエといった多くの諸国は本年も予防接種を実施していますが、限定的なものです。また、レソト、マラウイ、ザンビア、コモロ、エチオピア、マダガスカルといった他の発生国も、予防接種の計画を立ててはいるものの、そのための資金が確保できていません。

[ProMED 調整者]

死亡率は全体で1.53%です。国別ではボツワナの0.1%以下とスワジランドの0.2%以下から、ザンビアの4%とタンザニアの5%までです。

死亡率の差は、国ごとの医療水準の差とおそらくHIV感染の広がりといった他の要因によると思われる。